

令和 8 年 9 月 1 8 日

国土交通省九州地方整備局

熊本河川国道事務所

(一社) 熊本県測量設計コンサルタント協会

企業の水害対応力強化に向けた BCP 策定支援

～(一社) 熊本県測量設計コンサルタント協会会員企業を対象にワークショップを開催(全 2 回)～

熊本河川国道事務所では、民間企業における流域治水対策の一環として、水災害発生時の被害軽減と早期の事業再開を目的とした「水害版企業BCP(事業継続計画)」の策定支援に取り組んでいます。これまでに、一昨年度はコストコホールセールジャパン株式会社、昨年度は株式会社鶴屋百貨店を対象に水害版企業BCPの策定を支援しました。これらの取組で得られた知見を踏まえ、「水害版企業BCP作成マニュアル」を令和8年6月に公表しています。

今年度は、(一社) 熊本県測量設計コンサルタント協会の協力のもと、同協会会員のうち策定支援を希望した3社を対象として、水害版企業BCPの策定支援を実施しており、その一環として、第1回ワークショップを下記のとおり開催します。

※新たな取組として、「水害版企業BCP作成マニュアル」に準拠した4つのステップ(①被害想定、②重要な対応、③役割分担、④実施タイミング)による検討を行うとともに、その結果を基本シートとして取りまとめます。

記

1. 日時 令和8年9月30日(水) 13:00～16:00
2. 場所 (一社) 熊本県測量設計コンサルタント協会 会議室
住所 熊本県熊本市中央区帯山1丁目38-31
3. 内容
 - 【勉強会】・水害リスク及び水害版企業BCPの必要性
・水害版企業BCP作成マニュアルに基づく策定手順及び考え方の説明
 - 【ワークショップ】基本シート案の作成に向け、「被害想定」「重要な対応」「役割分担」「実施タイミング」の4項目について参加企業ごとに検討を行います。
4. その他

取材を希望される場合は9月29日(火) 12:00までに、下記担当者まで「別添送信票」を提出願います。

【問い合わせ先】

国土交通省 九州地方整備局 熊本河川国道事務所

技術副所長 : 鳥井 譲太

流域治水課長 : 河東 立

専門官 : 宮崎 純志

TEL: 096-382-1111(代表)

TEL: 096-382-1132(直通)

(一社) 熊本県測量設計コンサルタント協会

専務理事(兼事務局長) : 成富 守

TEL: 096-385-9390

※報道関係者 様

国土交通省九州地方整備局
熊本河川国道事務所 流域治水課 宛て
(FAX : 0 9 6 - 3 8 2 - 4 2 5 3)

企業の水害対応力強化に向けた BCP 策定支援

～(一社)熊本県測量設計コンサルタンツ協会会員企業を対象にワークショップを開催(全 2 回)～

【開催日 : 令和 8 年 9 月 3 0 日 (水) 1 3 : 0 0 ～ 1 6 : 0 0】

機関名	取材人数・氏名	代表者連絡先
	名 氏名 : 氏名 : 氏名 : ・フルネームでご記入ください。 ・最小限の人数でお願いします。	所属 (部署) 氏名 : 連絡先 (住所・TEL)

1. 取材・撮影を希望される方は、当申込票により FAX で事前申し込みをお願いします。

申込期限 : 令和 8 年 9 月 2 9 日 (火) 1 2 : 0 0 まで

2. 手書き記入で結構です。

3. 会場での取材については、1 3 時 0 0 分までに来場していただきますようお願い致します。

集合場所 : (一社) 熊本県測量設計コンサルタンツ協会 会議室

「水害版企業BCP」作成マニュアル

～ 4ステップで出来る！あなたの会社と従業員や顧客を守る計画～

こんなお悩み
ありませんか？

被害のイメージが湧かないなあ…



水害版のBCPを作るのは大変そう…



水害時にはどんな対策をすれば良いんだろう…



水害版のBCPが無いと困るなあ…

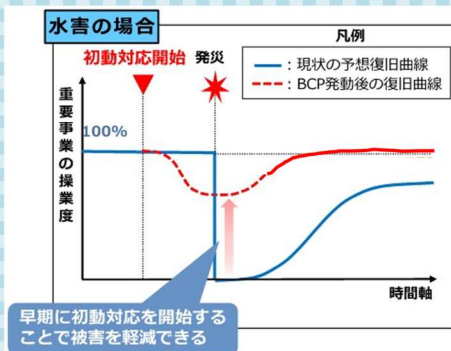


そのお悩み「水害版企業BCP作成マニュアル」を使って解決しませんか？

役に立つ！

※マニュアルは熊本河川国道事務所HPにあります。(裏面を参照)

- 水害版BCPを作成することで、従業員や顧客が危険な状況に陥る前に行動でき、**命を守**ることができます。
- また、被災による事業停止レベルを軽減でき、**早期に事業の復旧**を見込めます。
- さらに、いつ頃豪雨が来そうか、水位が上がってくるということが、前もって情報で分かるため、**発災前から初動対応**に取り組めるという点もポイントになります。



企業の事業復旧に対するBCP導入効果のイメージ
(参考：水害対応版BCP作成のポイント、国土技術研究センター)

わかりやすく簡単！

- 作成手順が**4ステップ**に集約されており、限られた時間で取り組むことができます。
- 業種別の**基本シート**を活用し、項目を埋めていくだけでタイムライン形式のBCPを完成させることができます。

4ステップで出来る！基本シートによる水災害版BCPの作り方

会社名	〇〇商事	所在地	〇〇県 〇〇市 〇〇区 〇〇町 〇〇番 〇〇号	想定される浸水水深	50年に一度 10年に一度	1～3m 浸水なし	災害対応の基本方針					●工場機械による怪我ゼロ						
ステップ1	浸水時に発生する 最大な被害を予想		ステップ2		被害に対し、何を優先的にやるべきかを考える（重要な対応）		ステップ3		だれがやるか決める （役割分担）		ステップ4		いつやるか決める （タイミング）					
重要業務	ステップ1		ステップ2		ステップ3		ステップ4											
	想定される被害		重要な対応		具体的な対応内容		担当者		レベル1		レベル2		レベル3		レベル4		レベル5	
情報収集	—		災害情報の入手		情報収集する		店長											
人的被害	従業員の被害		営業中止の判断		営業中断を判断する		各部長											
	来店客の被害		避難誘導		避難放送、避難誘導		対応係											
機器の被害	PCの浸水		情報PCの移動		PCを高所に移動		販売係											

基本シート(抜粋)

水害版企業BCP作成のメリット

【事業継続力強化計画制度の活用】

事業継続力強化計画制度とは、中小企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画を、経済産業大臣が「事業継続力強化計画」として認定する制度のことです。

この制度は2019年7月から開始されており、認定を受けた中小企業は税制措置や金融支援、補助金の加点などの措置が受けられます。

・事業継続力強化計画認定制度の概要：



認定を受けた企業に対する支援策

- ロゴマークの活用
(HPや名刺等で認定のPRが可能)
- 低利融資等の金融支援
- 防災・減災設備に対する税制措置
- 補助金の加点措置
- 中小企業庁HPでの認定企業公表



水害版企業BCPマニュアルの内容

【浸水状況を可視化】

本マニュアルでは、ARツールを活用することで、水害が発生した際にどのような浸水が生じるかを、リアルタイム映像(現実風景)として確認することができます。

『FloodAR(フラッダー)』
～ここつかるばいAR～
(Web型浸水ARツール) →

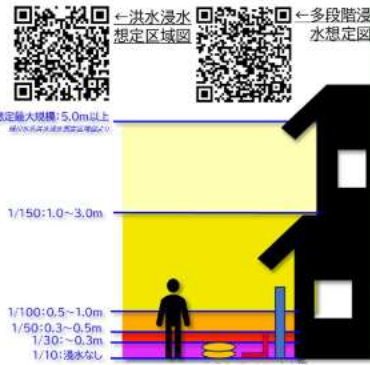


水害時のリアルタイム映像例



【浸水深の確認】

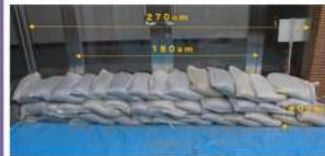
洪水浸水想定区域図や多段階浸水想定図を活用し、企業がある場所での降雨規模ごとの浸水深を図のように整理します。



想定される浸水深の例

【必要物資の抽出】

洪水時に起こり得る必要物資の不足について、具体的な検討手順を記載しています。対策の目標を設定することで、それに対応できるような物資と数量を検討します。



必要物資の例(土のう、止水板)

水害版企業BCP作成マニュアルへのアクセス

①熊本河川国道事務所HPにアクセスし、「水害版企業BCP作成マニュアル」のバナーをクリックしてください。



クリック

②水害版企業BCPマニュアルが表示されます
(https://www.qsr.mlit.go.jp/kumamoto/site_files/file/river/ryuuiiki.chisui/suigaiBCPM.pdf)。

水害版企業BCP作成マニュアル 検索

二次元
バーコード ▶



水害版企業BCP作成マニュアル改善のためのアンケート

問い合わせ先



マニュアル改善のためのアンケートを実施しています。
アンケートへのご協力をお願いいたします。
※所要時間は5分程度です。

【アンケートURL】
<https://forms.office.com/r/zsqfVbn5YZ>

【アンケート二次元コード】



熊本河川国道事務所
流域治水課
水防企画係
096-383-1132

4ステップで出来る！基本シートによる水災害版BCPの作り方

		ステップ1 洪水時に発生する 重大な被害を予想		ステップ2 被害に対し、何を優先的にやる べきか考える（重要な対応）		ステップ3 だれがやるか決める （役割分担）		ステップ4 いつするか決める （タイミング）	
ケース	種別	ステップ1		ステップ2		ステップ3		ステップ4	
		想定される被害	被害内容	重要な 対応	具体的な対応内容 事前対策 事後対策	担当者		対策を実施するタイミング(洪水発生前)	対策を実施するタイミング(洪水発生後)
就業時間中の対応	情報収集	—	—	災害情報の入手	情報入手手段を決めておく ラジオ・インターネットで情報収集	〇〇部長 (兼:〇〇課長)		警戒レベル1 (洪水の心配なし)	警戒レベル2 (災害の恐れあり)
	人的被害 関連	想定最大	従業員の被害	就業中止の判断	就業中止を判断する 就業中止を従業員に通知する	〇〇部長 (兼:〇〇課長)		警戒レベル3 (大規模な被害の恐れあり)	警戒レベル4 (被害が顕著)
	情報収集	—	—	災害情報の入手	情報入手手段を決めておく ラジオ・インターネットで情報収集	〇〇部長 (兼:〇〇課長)		警戒レベル1 (洪水の心配なし)	警戒レベル2 (災害の恐れあり)
	人的被害 関連	想定最大	従業員の被害	就業中止の判断	就業中止を判断する 就業中止を従業員に通知する	〇〇部長 (兼:〇〇課長)		警戒レベル3 (大規模な被害の恐れあり)	警戒レベル4 (被害が顕著)
	人的被害 関連	想定最大	従業員の被害	就業中止の判断	就業中止を判断する 就業中止を従業員に通知する	〇〇部長 (兼:〇〇課長)		警戒レベル3 (大規模な被害の恐れあり)	警戒レベル4 (被害が顕著)
	人的被害 関連	想定最大	従業員の被害	就業中止の判断	就業中止を判断する 就業中止を従業員に通知する	〇〇部長 (兼:〇〇課長)		警戒レベル3 (大規模な被害の恐れあり)	警戒レベル4 (被害が顕著)
	人的被害 関連	想定最大	従業員の被害	就業中止の判断	就業中止を判断する 就業中止を従業員に通知する	〇〇部長 (兼:〇〇課長)		警戒レベル3 (大規模な被害の恐れあり)	警戒レベル4 (被害が顕著)
	人的被害 関連	想定最大	従業員の被害	就業中止の判断	就業中止を判断する 就業中止を従業員に通知する	〇〇部長 (兼:〇〇課長)		警戒レベル3 (大規模な被害の恐れあり)	警戒レベル4 (被害が顕著)
	人的被害 関連	想定最大	従業員の被害	就業中止の判断	就業中止を判断する 就業中止を従業員に通知する	〇〇部長 (兼:〇〇課長)		警戒レベル3 (大規模な被害の恐れあり)	警戒レベル4 (被害が顕著)
	人的被害 関連	想定最大	従業員の被害	就業中止の判断	就業中止を判断する 就業中止を従業員に通知する	〇〇部長 (兼:〇〇課長)		警戒レベル3 (大規模な被害の恐れあり)	警戒レベル4 (被害が顕著)
	人的被害 関連	想定最大	従業員の被害	就業中止の判断	就業中止を判断する 就業中止を従業員に通知する	〇〇部長 (兼:〇〇課長)		警戒レベル3 (大規模な被害の恐れあり)	警戒レベル4 (被害が顕著)

担当者が不在の場合も想定し、副担当者の枠も明記

想定最大又は設定した規模の洪水に対し、想定される被害の内訳を記載

まず、基本的な対応の方向性を「重要な対応」として整理
⇒具体的な対応内容を記載

対応事項について、実施すべきタイミングのセルを着色

★BCPを策定することで

- ・かけがえのない従業員や顧客の命を守ることができる
- ・被害拡大の抑制や早期復旧ができる
- ・被災後、周辺地域に早期にサービスを提供することができる
- ・企業の価値向上や社会貢献が期待できる

